

西野水道の年譜

西暦	年号	月日	掘貫き工事の事項
1840年	天保11年	7月29日	能登より石工幸右エ門、三助、久蔵の3名が来る。 湖水側から掘り始める。
		8月 9日	御代官 青木津右エ門の御見聞。
		10月11日	御代官所 植田初 <small>はつ</small> の御見聞。
		10月15日	18mまで掘り進んだが岩盤に突き当たり作業難渋。
1841年	天保12年	9月	39mまで掘り進む。岩盤が堅いので東側から掘ることに変更。
		12月	東側15m掘る。
1842年	天保13年	2月	岩盤が堅く20mしか達しない。 夜業をする。
		4月20日	岩盤が堅いため掘り進む策なく石工は帰郷する。 掘り始めてから64m、人夫延べ1,860人、賃金288両を要した。
		4月25日	御奉行 林六右エ門の御見聞。
		7月 8日	伊勢の3名の石工長次右エ門、長助、文七に依頼する。 年中掘り続ける。
1843年	天保14年		掘り進むにつれ軟弱な層になり落盤しきりにおこる。山の神を勧請して工事の無事を祈る。
1844年	弘化元年		洞中崩壊したため井伊藩 <small>わく</small> より梓木、人夫1,300人の援助を仰ぐ。
1845年	弘化 2年	5月	(7ツ時)念願の水道が貫通する。 掘貫き125間5分、石工、人足、村人はおどりがあがって喜ぶ。
		6月 3日	熊野、松尾、西阿閉の人々を招き祝う。
		6月 9日	遠近よりの見物人のため怪我人まで出る騒ぎとなる。
		6月13日	水道が完成し、排水は順調に流れる。
		9月 1日	



奥びわ湖観光協会

TEL 0749-82-5909



当時の村人の思いをそのままに——

近江青の洞門

西野水道

滋賀県指定文化財